

# 平成29年度学校評価概要

## 学校評議員会ならびに 学校関係者評価委員会

平成 29 年 2 月 7 日実施

### ◎成果を認める主な事項

- ・勉強について生徒は色々な悩みがあると思われ、それを解消するためにも、通常の授業以外に学習サポートの取組はこれからも必要だと思います。
- ・授業参観での生徒の様子から、生徒がしっかり先生の話の聞いている。グループでの話し合いも生き生きとしています。毎年、参観させていただいているが、どんどんよくなっている感じる。
- ・明星中の生徒は廊下の挨拶がしっかりしていて気持ちが良い。
- ・生徒会役員の小学校訪問は、中学生が説明することで、これから入学する小学生にとって説得力のあるものとなり効果があると思います。
- ・明星中では、いじめもなく、生徒は明るく楽しそうに生活しているようだ。すでに、いじめ撲滅に向けた活動も行っているようなので、これからも続けていただきたい。

### ○今後の課題となる主な内容

- ・スマートフォンの所持率は年々上がっている。いじめにつながるネット上でのトラブルも増えていると聞いている。正しい使い方や危険回避の方法について、生徒・保護者への啓発を充実することが大切です。

## 生徒アンケート

平成 29 年 12 月全校生徒を対象に実施

※設問に [A 充実 B ほぼ充実 C やや不足 D 不足] の 4 段階で回答

### ◎成果が見られる主な項目

- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う・・・98%
- ・学校では集団や社会のルールを学ぶことができる・・・97%
- ・髪型や服装など学校生活のきまりを守っている・・・96%
- ・学級活動や学校行事に意欲的に取り組んでいる・・・96%
- ・先生は質問やわからないところを丁寧に教えてくれる・・・96%
- ・先生は学習で努力したことを認めてくれる・・・92%
- ・思いやりの心をもって協力して物事に取り組んでいる・・・92%

### ○今後の課題となる主な項目

- ・家で学校の予習や復習をしている・・・73%
- ・将来の夢や目標をもっている・・・73%

### 【主な記述反省・要望】

- ・班で考えると話し合いや教え合いができるので、班で行えるようなことが多くなると思います。
- ・校則や集会の雰囲気など、社会に出ても恥じない態度を身に付けることができました。
- ・将来のことを考える授業が増えると思います。
- ・私生活をしっかり見直し、自ら家事を手伝ったり自分でできることはなるべくやりました。この一年でとてもできました。

## 教職員自己評価

平成 29 年 12 月全教員を対象に実施

### 主な評価項目と自己評価（成果と課題）

#### ○重点目標

- ・学ぶ喜びを実感させ、学習意欲の向上を図る教育活動の充実を図り確かな学力の向上に努めている。
  - ・自尊感情の高揚を図るとともに、自己の将来を展望し、実現に向けて意欲的に学び、努力しようとする姿勢の育成に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
重点目標「自己の将来を見つめ、主体的に学び、自ら考え協働できる生徒の育成」に向けて、集会活動や体験活動等を通して、主体性を育む教育活動を充実しました。

#### ○生徒指導

- ・学校全体の秩序と安定を図るため、隙間のない指導体制と情報連携、行動連携に努めている。
  - ・共感的理解を基盤にした心のふれあいを大切に、自己をよりよく導く力を育む指導の充実を努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
休み時間や放課後など、生徒と教師がふれあう機会を重視し、「隙間のない生徒指導」を進めました。生徒指導上の課題に学年・指導部を中心とした組織的な対応に努めました。

#### ○学習指導

- ・生徒の実態に即して、TT指導や少人数指導、補充学習などによる個に応じたきめ細かい指導の充実を努めている。
  - ・確かな学力を育成するため、問題解決的な学習や体験的な学習を重視し、生徒に「わかる」「できる」を実感させる指導の充実を努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
数学科・英語科における習熟度別指導・TT指導をはじめ、学習課題の明確化、振り返り活動の充実など、全教科において「わかる」「できる」喜びを実感できる授業づくりに努めました。

#### ○道徳指導

- ・道徳の時間を要として、ボランティア活動や豊かな体験活動に積極的に取り組み、道徳実践力を高める指導に努めている。
  - ・道徳推進教師を中心とした指導体制の充実とともに、学習形態の工夫・改善に努め、心に響く道徳の時間の実践に努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
道徳性検査に基づき重点とする内容項目を明確にして、学年を中心とした授業交流を進め、道徳の教科化に向けた取組を進めました。

#### ○特別活動

- ・個と集団との関わりを学ばせ、望ましい集団の育成に努めるとともに、集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする実践的態度を育成している。
  - ・リーダーの育成や話し合い活動の充実を図り、自主性や創造性を育むとともに、個性の伸長を図る集団活動の充実を努めている。
- ⇒ 自己評価 A  
学校行事等を通じたリーダーシップ・フォロワーシップの育成に努めました。「いじめ撲滅集会」「ユニセフ募金活動」など、生徒会主体の集会活動を充実を図りました。

## 保護者アンケート

行事終了ごとにアンケート形式で実施

### ◎成果を認める主な内容

- 参観日
  - ・エンカウンターという言葉を知りました。3校から集まって入学してすぐとは思えないほど楽しそうに相談していて、とてもよい効果があるんだなあと思いました。
  - ・板書がとても見やすく、わかりやすいと思いました。
- 校内陸上
  - ・生徒が一丸となって協議に参加し、笑顔で応援している姿が印象的でした。
  - ・暑い中、どの生徒もクラスのために頑張っていて、とても見応えのある競技大会でした。
- 3年修学旅行
  - ・自主研修で自分達で行きたい場所を調べて動く楽しさと、計画を立てることの難しさを体験できたようです。
  - ・新しいクラスになってすぐの修学旅行は、準備期間も短く、不安と期待の混じった中でのスタートでしたが、帰ってきたときの子どもの表情を見て、とても充実した旅行だったのだと分かりました。
- 明星祭
  - ・あの短期間で歌い上げた合唱、先生と生徒が一丸となり最高のオープニング、また生徒達の整列やお辞儀、落ち着いた態度など、どれもとても素晴らしい明星祭でした。
  - ・生徒会の最後の挨拶は、本当に明星中が好きで仲間も好きなんだな～と思いました。
  - ・毎年、明星学級の生徒のトーンチャイムでのオープニングを楽しみにしています。今年も難しいジブリの曲、とても素敵でした。
  - ・審査員の先生の言葉は、最初厳しすぎるのではと感じましたが、生徒達の本気の歌声に対してのお返しということで、それに刺激を受けてますますの頑張りを期待したいと思います。
  - ・各クラスの発表時に担任の先生が後方で生徒に大きな〇サインを出して賛辞を送っていたのが印象的でした。

## H30年度に向けた 改善の方策

### ○社会と向き合い、関わり合える教育活動の充実

- ・生徒が自らの体験に基づき、議論したり、考えたりする道徳の授業づくり
- ・他者と協働して課題を解決する学習を重視し、生徒一人一人が主体的に取り組む総合的な学習の時間の充実
- ・上級学校訪問や職場体験、職業講話など、発達段階に応じた体験活動等の充実
- ・地域の一員としての自覚を高める体験活動、奉仕活動などの交流機会の充実

### ○「わかる」「できる」を実感できる授業づくり

- ・学習課題の明確化、課題解決過程の工夫、振り返り活動の充実など、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現に向けた日常的な授業改善の推進
  - ・数学科、英語科におけるTT指導、少人数指導の一層の充実
- ※放課後や長期休業中の学習サポートの充実

### ○基本的な生活習慣（学習習慣を含む）の確立

- ・「明星夢DIARY」による自己の生活の見直しや先を見通した計画的な学習の取組の促進、家庭との連携
- ・「明星中学校区小中連携教育推進会議」等による義務教育の9年間を見通した、生活習慣・学習習慣づくりの推進